

気がついたら病室に

「60歳代でも一輪車乗れるかな」というので、乗り方を指導したことのある70歳代の男性。「死ぬ目に遭ったんだ」と来店を。意識不明の状態が何日も続いたそうです。

そうなる直前、いつも行く医院で処方箋をもらってウチへ来たかと聞かれたものの、来店された形跡はありません。

その辺りで昏迷が起こっていたようで、退院してから気がついたが自動車をこすった後があったと。その間、ほとんど覚えていないようです。

翌日、アルバイト先へ自動車で出かけたなら、「今日は出番じゃないがどうしました？ 顔色が悪いですね」と。

同席していた医師が診ると血中酸素濃度が低いので、救急入院させようということになりました。

救急車に乗ったのも覚えていないし、気がついたら病室にいたそう。何日眠っていたのだろうか？ 抗生物質の点滴のみで内服薬はない…。どこでどう調べたのか常用の薬を揃えてくれて、持病の薬のみ始めたとのこと。

インシュリンを打ち始めたら、食べるものも食べていないので何度も低血糖を起こします。何日か入院していたが、何かの感染症らしいものの、人から人には感染しないとのことで、個室ではなくて4人部屋だったそう。

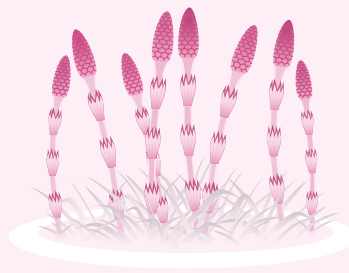
退院間近のころ、保健所の職員がベッドサイドに来て「温泉に行きましたか？ いつごろでしたか？」と聞かれ答えとこ

店頭から 「たんちほ」

第147回

意識不明の状態が何日も続いた、という男性が来店しました。感染症らしいのですが、結局、原因が不明のまま退院を――。

日ごろからエアコンなどの掃除を 細菌が関わる感染症にご用心



る、「潜伏期から考えると、そこが原因ではないね」と。感染源は不明のまま、「もうよくなったから退院してください、通院することはありません」とのこと。

何が起こったのか分からないまま、退院してきましたとの話です。

レジオネラ菌が原因だとすると、初期治療をしないと急速に悪化して、昏迷を起こしたりすることも。そのことを話して来た後は、何ごともなかったかのように普通の生活をしているそうです。

エアコンからレジオネラ菌が

以前に薬のセールスさんが、高熱が出たので入院して調べたら、そのレジオネラ菌が検出されました。出張中だったので、発症までの潜伏期から逆算するとあるホテルが特定できたのです。

ホテルの泊まった部屋のエアコンからレジオネラ菌が検出され、「そのホテルは業務停止処分を被ったそうです」とご本人から聞いたことがあります。

公衆浴場、温泉、エアコンなどはちゃんと掃除してカビが生えないようにしておかないと、人の命に関わる病気が発生するかも知れません。恐るべし微生物。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ

宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「室内でも、からだを動かすようにしてください」

